

第10回岩手県津波防災技術専門委員会の概要について（報告）

1 開催日時 平成27年2月4日（水）13時30分～15時30分

2 開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡 4階「岩手」

3 委 員

委員名	職名	備考
今村 文彦	東北大学災害科学国際研究所 所長	欠席
小笠原 敏記	岩手大学工学部 准教授	
首藤 伸夫	東北大学 名誉教授	
内藤 廣	建築家・東京大学 名誉教授	
羽藤 英二	東京大学大学院 教授	
平山 健一	公益財団法人 岩手県国際交流協会理事長	復興委員会委員
南 正昭	岩手大学工学部 教授	委員長
山本 英和	岩手大学工学部 准教授	

4 会議の概要

(1) 委員長選出

委員長の互選については、南正昭委員が選出された。

(2) 議事（いずれも報告事項）

①復旧・復興事業の進捗について

- ア) 社会資本の復旧・復興ロードマップについて
- イ) 復興まちづくりの状況について
- ウ) 海岸保全施設（防潮堤、水門）等の復旧状況について

②水門、陸閘等の操作運用方針について

(3) 意見の概要

①復旧・復興事業の進捗について

- ・ ハード整備が進んでいるものの、防潮堤ができれば安心という雰囲気がでてきており、危機感が薄れてきているように感じる。ハード施設を整備した意味をきちんととりまとめ、次の世代にどう伝えていくか検討してほしい。

②水門、陸閘等の操作運用方針について

- ・ 水門や陸閘については、予期せぬ事象により閉鎖できないこともあり得る。必ず閉鎖すること

を目指すけれども、100%確実ではないということを地元の方々にも常々説明しておくことが重要。消防団による避難誘導など、これまでの文化も共存しながら、逃げる文化・警戒する文化を大事にして欲しい。

③全般的な事項

- ・ 復興道路などは、つくっただけでそれで終わりではなく、どのように活用していくか。その使い道・効用などを伝える努力を今から考えて欲しい。